

「大政翼賛会」のよう

秘密保護法案には反対が急速に広がり、強行には抗議が巻き起こっています。

元自民党幹事長・野中広務氏「(与党と野党の一部との『修正』協議での衆院通過は)われわれが恐れた、昔の『大政翼賛会』のようです。空恐ろしいことです」
〔「しんぶん赤旗」日曜版24日付〕

反対

自民元幹事長も
田原さん鳥越さんも
全国紙も地方紙も

田原総一郎氏、岸井成格氏、鳥越俊太郎氏など著名なTVキャスターがそろって反対の記者会見(11日)

朝日新聞「『熟議』にはほど遠い暴挙」
「あまりに乱暴で拙速な衆院採決だ」(26日付夕刊)

京都新聞「政権の独断専行」(27日付)

「あまりに乱暴で拙速」

秘密保護法案 あなたが狙われる

知らぬ間に… 逮捕



秘密保護法案が恐ろしいのは、国民には「何が秘密かも秘密」ということです。事故が心配で原発を調べたり、米軍基地被害を話し合うだけで、突然、警察から同行を求められたり、逮捕されたりする可能性があります。

知らぬまま… 裁判



「何が秘密かも秘密」であるため、逮捕状にも搜索令状にも犯した罪が書かれませんが、何の疑いがかけられているのかも秘密です。裁判の場でも弁明のしようがなく、その秘密を知ろうとすれば、弁護士や裁判官も逮捕です。

知らぬ間に… 監視



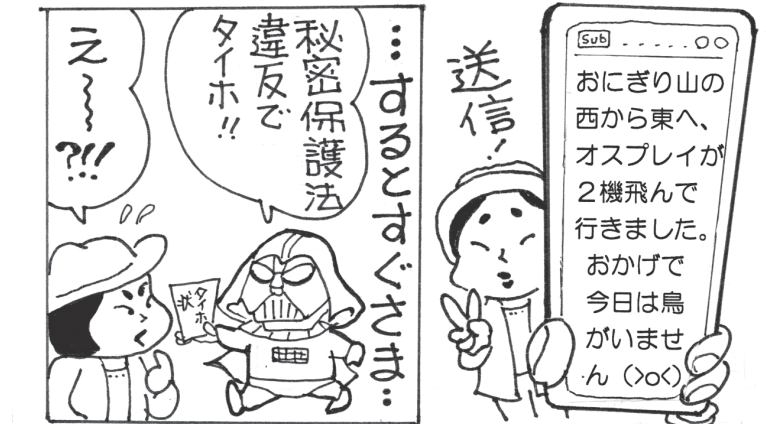
秘密を扱う公務員や武器関連メーカーの社員には、秘密をもらす恐れがないか、「危険人物」との接触がないか、国が“監視”することになります。調査対象は家族や親族も。知らないうちに私たちが「危険人物」にされる危険も。

知らぬ間に… 戦争



かつて日本は「大本営」発表で戦争を拡大していきました。根拠の情報が秘密にされれば、国会でもまともな議論すら経ることなく、戦争を始めることになります。国民には真実が分からなければ、戦争を食い止める手段がありません。

こんなことにならないよう
力を合わせましょう



制作 日本共産党岡山県女性後援会(「しんぶん赤旗」11月19日付より)